

走水・馬堀地域小中学校教育環境整備検討協議会ニュース

～子どもたちのより良い教育環境のために～

Vol. 5 発行 横須賀市教育委員会 2023.5



3月17日に開催した第5回走水・馬堀地域小中学校教育環境整備検討協議会の内容についてお知らせします。

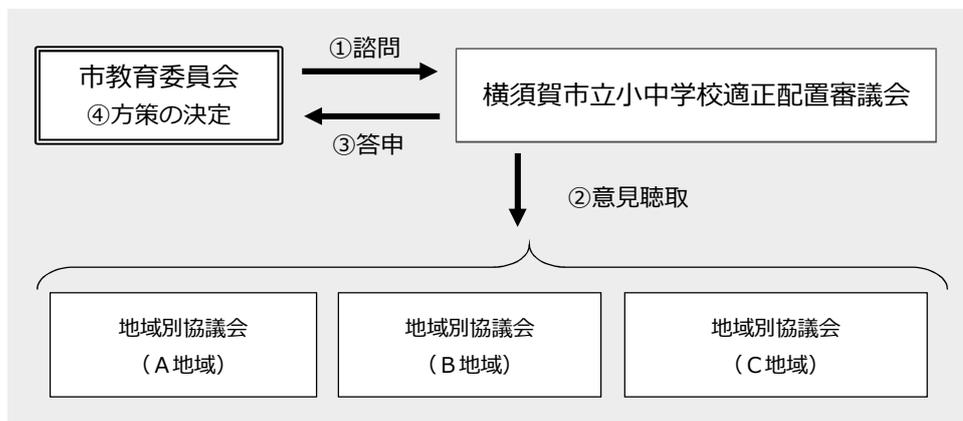
○第5回地域別協議会の主な議題

- 1 検討スケジュールについて
- 2 第4回地域別協議会での整理（小規模特認校制度について）
- 3 教育環境整備の検討（走水・馬堀地域における通学等について）

1 検討スケジュールについて

来年度の走水小学校の児童数が、さらに減少する見込みであり、速やかに対応策を検討する必要があること、また、本協議会においても議論のポイントが絞られてきたことから、5月に開催する第6回協議会において意見をまとめ、横須賀市立小中学校適正配置審議会に報告する予定です。

その後、審議会において、「走水・馬堀地域における市立小中学校の教育環境整備の推進に係る方策等について」の答申を行い、その答申に基づき、教育委員会が教育環境整備の方策を決定します。



2 小規模特認校制度について

これまでの協議会において、委員提案として頂いた小規模特認校制度についてご説明し、参考として、県内で本制度を導入している3つの小学校の教育活動等について、情報提供しました。

特認校制度・学校選択制の一つ。従来の通学区域は残したままで、特定の学校について、通学区域に関係なく、当該市町村内のどこからでも就学を認めるものです。

3 第5回地域別協議会で出た主な意見の概要について

(1) 通学や通学路について

- ゴミがかなり捨てられており、歩いていて気持ちの良いものではありません。
- 雨の日や暑い日もそうですが、馬堀海岸にあるガソリンスタンドの手前の道路は越波してきますので、大人でも厳しいところを子どもに歩かせるのは酷だと思います。
- 安全面を考えればスクールバスの方が良いと思いますが、学年によって下校時間が異なることを踏まえると、路線バスの方が使い勝手が良いこともあります。
それでも、路線バスによる下校の際は、信号付き横断歩道と歩道橋が少なく、下りのバス停から家に帰るのに道路を渡らなければいけない点が心配です。
- バスが減便となったことで、バスへの乗り遅れによる遅刻が心配ですし、そうした場合の対応として徒歩という手段は無理だと思います。
- 登下校の時間は、子どもたち同士のコミュニケーションにおいてとても大事な時間だと思いますし、バス通学になることで、こうした子どもたちの楽しみが奪われてしまう心配があります。
- 子どもがなかなか帰宅しないので学校に問い合わせたところ、すでに下校したという連絡を受け、入れ違いになったという話がありましたので、保護者として心配です。
- 仮にスクールバスを出す場合でも、車内に子どもが残っていないのかも含め、学校側でしっかり把握してくれるのかという心配があります。
- 審議会でのご意見の中に、スクールバスの導入や通学費用の無料化と公平性の原則に関するものがありましたが、例えば、走水小学校まで歩いて通えていたところ、仮に統合によって走水小学校がなくなった場合、その通学費用が自己負担となれば住民の方にとっては負担になります。
現在はこうした通学支援策はありませんが、全市的な視点でどのような対応が必要かを考えれば、公平性の問題は解決すると思いますので、検討していただきたいです。
- 仮に小規模特認校制度を導入して走水小学校を残した場合でも、バス通学の問題は避けられませんが、学校を統合する場合でも、その点をよく考える必要があります。
- 市として京浜急行に交渉し、バスの増便をお願いしてもらえればと思います。
- 学校の統廃合等により通学距離が長くなる場合は、スクールバスあるいは通学に対し一定の補助を行う基準を全市的に適用する方法も考えられます。
また、通学距離の点で不公平感が出ないようにするのであれば、通学距離の基準を超えた人数が一定数いる場合、スクールバスの運用もあり得るといった基準を設定することも考えられます。

<3ページに続く>

- 走水地域の人数規模を考えれば、ワンボックスカーのようなもので良いと思います。
- 路線バスとスクールバスの併用も考えられると思います。
- スクールバスに乗るのを待つ場合、どこで児童を待機させるのかという問題も出てくると思います。
- 幼稚園バスに、小学校低学年の児童も一緒に乗ってもらう方法も考えられると思います。
- 馬堀小学校と馬堀中学校までは方向が同じですので、スクールバスを出す際に中学生も同乗できればコストも下げられると思いますので、ぜひご検討ください。

(2) 走水の地域や環境について

- 歩いて通える距離に小学校がなくなると、走水に住むのをやめるという家庭も出ると思いますし、実際に走水小学校の件が話題になっていますので、将来的になくなるのであれば、今のうちから馬堀小学校に変更する家庭もあると思います。
- 地域に小学校がなくなると、走水の国有地が売却された後に集合住宅が建っても、物件が売れなくなることで人口を増やす機会が失われ、市や走水地域に入るはずの利益が損なわれることもあり得ます。

(3) 学校規模について

- 小規模特別認定校において、自然豊かな教育環境を持つ学校が他にもあることを知り、勇気づけられました。
- 海に近いことを活かした活動をしている学校もありますし、その他に他県でも少人数のクラスを増やす取り組みをしている学校もありますので、走水小学校でも取り組んでみてもいいと思います。

(4) 跡利用について

- 走水小学校が震災時の避難所に指定されていますので、建物はそのまま残してほしいです。
- 走水小学校を利用しているスポーツ少年団が複数ありますので、仮に統合によってなくなった場合、各スポーツ少年団間での場所取りの調整が困難となり、団体の存続にも関わる可能性があります。こうした観点も踏まえて検討してほしいです。
- 走水地域には高齢の方が多く、馬堀地域まで徒歩で避難するには遠すぎるので、こうしたことについても検討してほしいです。

4 次回、第6回地域別協議会の開催について

日時 令和5年5月25日(木) 19時00分～20時30分

場所 大津コミュニティセンター 学習室4・5・6

※傍聴できます。18時50分までに直接会場にお越しください。

定員10名(定員を超えた場合は抽選)



教育環境整備検討協議会について

当日資料や会議録等については、以下のホームページからご覧いただけます。

URL

<https://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/8115/documents/tiikibetukyougikai.html>

QRコード



～皆さまからのご意見等を受け付けております～

ご意見等がございましたら、以下のファクスかEメールまでお願いいたします。

事務局（お問い合わせ先）

〒238-8550 横須賀市小川町11番地

横須賀市教育委員会事務局教育総務部教育政策課

電話 046-822-9751 ファクス 046-822-6849

Eメール sc-real@city.yokosuka.kanagawa.jp

